

「図書目録」

暑さも遠のき、いよいよ読書の秋とはなりましたが、図書館の利用状況は、41年9月末現在までの登録者は1039名で、まだそれほど活発ではございません。委員会では、12月初旬を目標に、図書館在庫リストである「図書目録」を刊行すべく作業を急いでおりますが、目録が皆様のお手元に渡りますと、図書館の利用も便利になるかと思えます。

「資料類」

図書館の性格上、重点は土木の各専門分野に関する文献資料の収集ということですが、とくにこれから開かれる国際会議の論文集、これから刊行される非公開の報告書、工事誌類の収集にはもれないよう、委員会としてはできるだけの努力を致しております。しかし、それだけではもれを防ぐことはできませんので、会員の皆様方のご協力を切にお願いする次第です。

整備を予定しておりました和洋の単行本、和洋の雑誌類は、現在90%以上入手済みとな

っていますが、過去の国際会議論文集、非公開資料の整備は十分ではありません。たとえば、資料類の41年8月末現在入手件数はつぎのとおりです。

運輸省	18	首都高速道路公団	2
建設省	24	阪神高速道路公団	1
農林省	4	帝都高速度交通営団	1
文部省	1	愛知用水公団	1
外務省	2	水資源開発公団	1
自治省	2	日本住宅公団	1
厚生省	1	日本原子力研究所	5
労働省	2	日本科学技術	
国立国会図書館	2	情報センター	2
総理府	22	東京都	9
防衛庁	1	兵庫県	1
日本国有鉄道	15	参議員	1
日本道路公団	3		

「雑誌類」

土木関係の大部分の専門雑誌の内容につきましては、土木学会誌の巻末に毎号、「文献目録」として各報文の題目が和訳して掲載されています。学会では、この文献目録をカード化して整備していますが、まだ集大成した索引はございません。

新技術の開発、新しい研究課題の発掘、知識体系の整備などに雑誌類の報文調査は不可欠ですが、探究心旺盛な会員の方々のご利用をお待ちしております。

「文献複写」

図書館では、所蔵の単行本、雑誌、資料類の複写のサービスも致しておりますが、まだ複写依頼件数は月平均50件程度で割合ひまな様子です。これにつきましては、複写費用が40～60円/1ページと高いこと、複写が遅れて、依頼から入手までに遠方の会員の場合一週間以上もかかること、PR不足などが原因かと思えます。しかし会員の方々に、自分用にカメラを持参されて複写される場合には無料となっておりますので、お知らせ致します。

「閲覧・貸出し」

できるだけ多くの会員に、平等にご利用頂くため、図書の貸出し

は行なっておりませんが、しかし、図書館のなかには最大40人程度を収容する閲覧スペースがございますので、御来館の方々に閲覧に関してご不便をおかけするようなことはないと思います。

「フィルム ライブラリー」

一方、フィルムライブラリーにつきましては、「学会誌51巻8号の会告」にもありますように、規定を設けて会員に限り貸出しを致しております。遠方の方々でも借用できますので、自由にご利用下さい。

最後に、委員会では土木図書館をいっそう充実し、会員の皆様の利用の便宜をはかるため、図書館の整備、運営などにつき検討しておりますが、皆様方の御意見、御提案を期待しております。